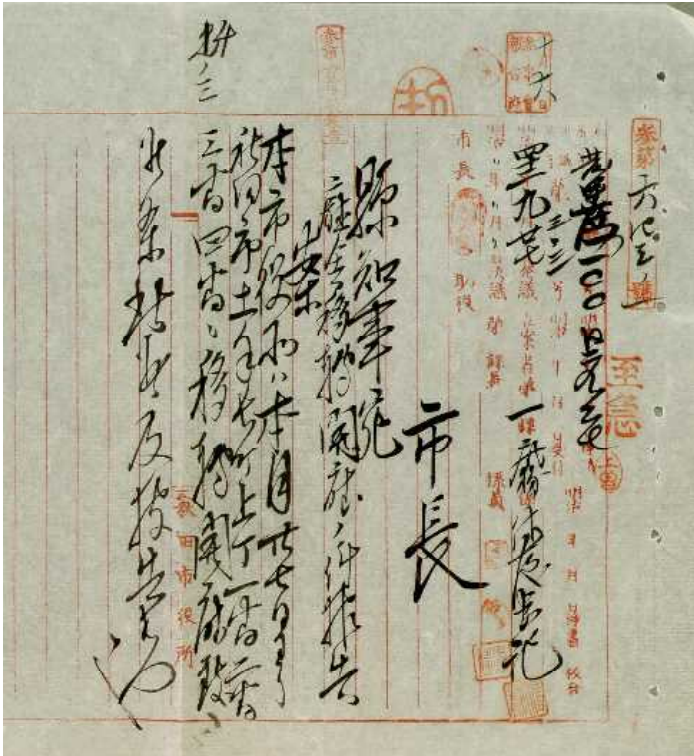


2代目庁舎へ新築移転

明治22年(1889)から土手長町中丁(現中通三丁目、北都銀行本店付近)で事務を行ってきた市役所が、明治38年(1905)7月に火災で土蔵を残し全焼しました。一時、大町三丁目の元税務監督局を借りて仮庁舎としましたが、4年後の明治42年(1909)に新庁舎を土手長町上丁(現千秋矢留町2番)に新築し移転しました。



明治42年9月27日、仮庁舎から新庁舎へ移転、開庁したことを県知事へ報告しています。

場所は土手長町上丁1番～4番(現在のエネオス千秋なまはげスタンド付近)であるとしています。



新築された木造2階建ての2代目庁舎。

焼失3年後の明治41年10月に再建に着手し、同42年10月23日には新築落成式を挙行了しました。

写真は昭和31年頃撮影。